



<目次>

- p. 1 . . . BLMC 会員の皆さまへご挨拶
p. 1-4 . . . 駐日ベルギー大使へのインタビュー
p. 4 . . . 会員様の情報
p. 5-7 . . . 大使館・各団体からのお知らせとニュース

BLMC 会員の皆様

皆様、若葉の季節になりました。お変わりないでしょうか。

今回のニュースレターは、駐日ベルギー大使 アントワン・エヴラー閣下にインタビューを行いました。

駐日ベルギー大使アントワン・エヴラー閣下



-今日は多忙な中貴重なお時間をいただき、誠にありがとうございます。早速ですが、これまでのご経歴についてお聞かせください。

私は 2023 年より、駐日ベルギー大使として東京に赴任しております。

その前の 3 年間は、ブリュッセルにて外務大臣の首席補佐官を務めました。それ以前には駐メキシコ大使を務め、さらにキャリア初期にはニューヨークの国連代表部でジュニア・ディプロマットとして勤務しておりました。また、これまでにイラン、モロッコ、インドにも駐在していました。

-さまざまな地域で外交のご経験を積まれていらっしゃるのですね。それでは、今回は初の来日になるのでしょうか。

日本との関わりは以前からあり、2015 年にはベルギー首相の公式訪問に際して日本を訪れ、安倍晋三元首相との会談に同行いたしました。当時、私はベルギー首相の外交顧問を務めていました。しかし、それは 2 回目の来日で、初めて日本を訪れたのはインド駐在中に、プライベートで 2 週

間ほど日本に滞在する機会がありました。



-そうだったのですね！ところで、日本に赴任されて3年目を迎えられましたが、日本での生活やご経験の中で、特に気に入っていらっしゃる点と、一方でチャレンジだと感じられている点についてお聞かせください。

日本の中でどこが一番好きかと聞かれると、やはり東京です。私は都市での生活が好きなので、この街にはとても魅力を感じています。東京は大都市でありながら、とても静かで落ち着いた雰囲気があります。また、非常に近代的な都市である一方で、緑や公園も多く、自然との調和が感じられる点も魅力です。ニューヨークと比べても、東京はより整然としており、騒音も少なく、非常に暮らしやすい都市だと感じています。

一番のチャレンジは、やはり日本語です。日本語はフランス語、オランダ語、英語とは大きく異なり、とても複雑な言語だと感じています。これまで何とか習得しようと努力してきましたが、流暢に会話ができないこと、そして今後も話せるようにはならないことにフラストレーションを感じます。

-やはりヨーロッパの言語とはまったく異なりますものね。そのような文化的な違いを越えて、日白通商160周年という節目をどのようにご覧になっていますか。これまでに実施された記念イベントや、今後予定されている行事などもご紹介いただけますでしょうか。

両国関係160周年を記念し、東京だけでなく日本各地で、年間を通じて数多くのイベントを開催しています。その一例として、5月23日から約1か月間、國學院大學博物館において展覧会が開催されます。本展では、ベルギー王立美術歴史博物館の所蔵品に加え、王宮資料館やベルギー外務省の資料も展示されます。展示品の中には、20世紀初頭に明治天皇からベルギー国王に贈られた花瓶や文箱のほか、1866年に両国間で締結された「日白修好通商航海条約」の原本など、歴史的にも非常に貴重な資料が含まれています。また、今後の主な取り組みとしては、6月から埼玉、名古屋、京都においてバレエやコンテンポラリーダンスの公演を予定しています。さらに10月には、大分、倉敷、名古屋、津、東京を巡る形でベルギー国立管弦楽団のツアーも開催する予定です。

加えて、7月には日光・中禅寺湖畔にあるベルギー大使館の別荘を一般公開します。最後は、12月に新宿で開催されるベルギービールウィークエンドで160周年記念を締めくくる計画です。



また、日本の学生に対してベルギー留学をより積極的に促進したいと考えており、北海道大学を皮切りに、早稲田大学、金沢大学、神戸大学、大阪大学、仙台の大学、そして最後に東京の複数大学で講演や交流会を実施する予定です。ヨーロッパの学生にとっては、たとえ1学期間であっても、あるいはそれ以上の長期であっても海外留学の経験は、その後の就職活動において非常に有益とされています。異なる環境への適応力やオープンマインドを持っていることの証明にもなるからです。こうした背景も踏まえ、日本の学生の皆さんにも、より海外留学に関心を持っていただきたいと考えています。円安の影響など課題はありますが、それでも国際的な学びの機会を広げることには大きな意義があると思います。そして、最も重要なハイライトとしては、6月に天皇皇后両陛下が国賓としてベルギーを公式訪問される予定であり、これも両国関係にとって極めて象徴的で重要な出来事になると考えています。



-ところで、大使ご自身は、どのようなきっかけや思いから外交官の道を志されたのでしょうか？

ベルギーでの生活は確かに楽しいですが、私は以前から海外での生活に魅力を感じていました。この仕事のおかげで、4年ごとに国を移り、さまざまな環境で生活しながら働くことで、常に新しい文化や経験に触れることができます。その上で、自国のために働くことができます。その意味で、外交官という仕事は私にとってまさに理想的な仕事であり、むしろパーフェクトな仕事だと言っても過言ではありません。

-まさに大使になるために生まれてきたようですね！ところで、話はまた変わりますが、これまでの赴任先の一つであるメキシコでは、有名な big blue hole に行かれたか？

メキシコとベリーズの両国を大使として担当していました。ベリーズの有名なスポットであるビッグ・ブルー・ホールには行ったことはありませんが、多くの観光客がハネムーンなどで訪れるサン・ペドロには行ったことがあります。

-また話が両国間の話に戻りますが、今回の 160 周年を経て、40 年後の 200 周年に向けて、両国関係がどのように発展していくことを期待されているのでしょうか。未来への展望やメッセージをお聞かせください。

両国はともに優れた貿易国であり、また投資家でもあります。1960 年頃からこれまでに約 300 社ほどの日本企業がベルギーに進出しており、経済関係は着実に発展してきました。

今後については、企業同士の連携にとどまらず、研究機関や大学も含めて、より緊密に協力していくことが重要だと考えています。そして、両国が共同で新しい価値を創出していくことが理想です。

経済安全保障の観点も踏まえつつ、我々は他の主要国と競争し、経済的安全保障と繁栄を維持できるよう、常に最先端技術の開発を継続し、強固な産業基盤を共に築いていくことが求められています。

良い例としては、ベルギーの半導体研究機関である IMEC のような先端的な知の拠点と、日本の産業力や技術力が組み合わさることで、大きな相乗効果が生まれています。



また、洋上風力発電、海底関連技術、水素、ライフサイエンスなどの分野においても、両国が協力して新しいイノベーションを生み出せることができるため、さらなる協力の機会が数多くあると確信しています。

-素晴らしいですね。是非そのような未来になっていきたいですね。ところで、ヨーロッパ諸国と日本とは、政策決定や意思決定のスピードに違いがあると言われることがありますが、大使ご自身はどのようにお感じになっていますか。

ヨーロッパと日本では、意思決定の方法が異なりますし、そのプロセスは大きく異なります。しかし、結局のところ、意思決定に至る時間と、その決定を実行に移すまでの時間を合わせると、実際にはそれほど大きな差はないのではないかと感じています。あくまでプロセスの違いなのです。

-なるほど、では、ビジネスの進め方や交渉のスタイルにおいて、両国間にはどのような文化的・実務的な違いがあるとお考えでしょうか。

日本では対立を避け、慎重に合意形成を図りながら物事を進める傾向があります。一方、ヨーロッパ諸国では、一般的により率直で明確なコミュニケーションが好まれます。しかし、根底には共通する考え方や価値観も多く、お互いの強みを生かすことができれば、将来的にはさらに多くの巨大プロジェクトや、革新的なスタートアップ、スケールアップ企業が誕生することを信じています。これから両国の外交関係樹立 200 周年に向けて、新しい時代にふさわしい環境を共に築いていくことが重要だと思います。

-一つの新しいスタイルですね。素晴らしいと思います。最後に、人生やキャリアの中で困難に直面された際、大使はどのような考え方や姿勢で乗り越えてこられましたか。

特にありません。ただ、困難に直面したときには、目の前の問題だけにとらわれず、常に物事をより大きな視点で捉えるよう心がけてきました。その時には悪い状況に思えても、後になって振り返ると、それが結果的に良い方向へ進むきっかけになっていたということも少なくありません。長い目で状況を見ることで、一時的な困難にも冷静に向き合うことができ、次に進むべき道も見えやすくなると感じています。

-なるほど、全てはものの見方ということですね。大使の広い視座と俯瞰で大局的に捉える視点は、大いに参考になります。本日は貴重なお話をありがとうございました。

最後に、残りのご任期におかれましても、その柔軟なお考えと温かいお人柄で、ますますご活躍されますことを心よりお祈り申し上げます。



<会員様の情報>

・住友商事株式会社

このたび、元当会会長であり、また住友商事の社長・会長として長年ご活躍された宮原賢次様が、本年1月にご逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げます。

3月18日にはオークラ東京でお別れの会が執り行われ、当会からは副会長の井本が参列いたしました。会場には多くの関係者が集まり、宮原様のご功績とお人柄を偲びながら、温かい雰囲気の中でのお見送りとなりました。宮原様には当会の発展に長年にわたり多大なるご尽力をいただき、そのご指導とお支えは、今も私たちの活動の大きな礎となっております。改めて深く感謝申し上げますとともに、心よりご冥福をお祈りいたします。



・芥川製菓株式会社

先月末、池袋のサンシャインシティで開催された「2026年 芥川製菓チョコレート アウトレット」

に伺いました。このイベントは20年以上続く恒例行事で、多くの来場者で賑わっていました。会場では、さまざまな種類のチョコレートがアウトレット価格で販売されており、多くのお客様がカゴいっぱい購入されている様子が印象的でした。迷いながらも次々と商品を手にする姿も見られ、人気の高さがうかがえました。

また、本イベントは池袋での開催を火切りに、埼玉県戸田市、狭山市でも実施されたとのこと。これからも多くの方に親しまれる、恒例のイベントとして継続されることが期待されます。

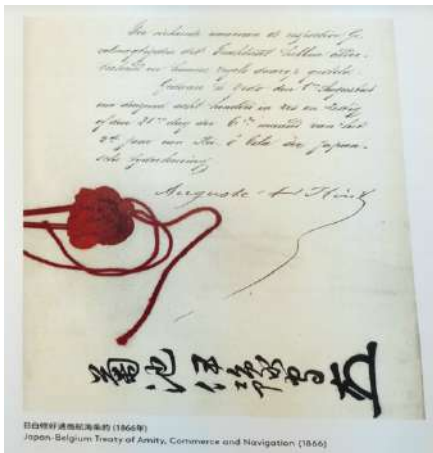


皆様の今後益々のご活躍をお祈り申し上げます。

<各関係機関と組織から>～4月から7月までのイベントやニュース～

*ベルギー大使館

5/23-6/28 160周年記念・特別展



日本ベルギー修好 160 周年記念『美と知の交流の軌跡』の特別展が國學院大學博物館にて開催されます。1866年に締結された「日本ベルギー修好通商航海条約」の現存する唯一の条約原本は、通常ベルギー外務省にて保管されていますが、今回はその原本をご覧いただけます。他にも貴重な外交文書や歴史的美術品の数々が展示されています。

https://museum.kokugakuin.ac.jp/special_exhibition/detail/2026_belgium160th.htm
1

6/19-28 160周年記念・特別公演

2025年に高松宮殿下記念世界文化賞を受賞したベルギー出身の振付家アンヌ・テレサ・ドゥ・ケースマイケルが率いるダンスカンパニー「ローザス (Rosas)」が来日し、「和声と創意の試み」が上演されます。

* 6月19日(金)～6月21日(日) @ 彩の国さいたま芸術劇場

* 6月24日(水) @ アマノ芸術創造センター名古屋

* 6月27日(土)～6月28日(日) @ ロームシアター京都

さいたま：アンヌ・テレサ・ドゥ・ケースマイケル、ラドワン・ムリジガ、ローザス、アトラファイブ『和声と創意の試み』 | 彩の国さいたま芸術劇場

[<https://www.saf.or.jp/arthall/stages/detail/106744/>](https://www.saf.or.jp/arthall/stages/detail/106744/)

名古屋：Il Cimento dell'Armonia e dell'Inventione / 和声と創意の試み | 自主事業 | 愛知県芸術劇場[https://www-](https://www-stage.aac.pref.aichi.jp/event/detail/20260624.html)

[stage.aac.pref.aichi.jp/event/detail/20260624.html](https://www-stage.aac.pref.aichi.jp/event/detail/20260624.html)

京都：アンヌ・テレサ・ドゥ・ケースマイケル、ラドワン・ムリジガ、ローザス、アトラファイブ和声と創意の試み/ Il Cimento dell'Armonia e dell'Inventione | ロームシアター京都<https://rohmtheatrekkyoto.jp/event/148028/>

7/3-5 160周年記念・特別一般公開

日本ベルギー修好 160 周年を記念して、栃木県・中禅寺湖の湖畔にあるベルギー大使館別荘を一般公開いたします。イベントの詳細は、後日栃木県のHP および大使館のSNSに掲載されます。

[栃木県/国交樹立 160 周年記念ベルギー王国大使館別荘の特別公開について](#)



*ルクセンブルク東京貿易投資事務所

【ニュース】 ・ Luxembourg for Finance と FinCity.Tokyo が SusHi Tech にて覚書を締結

4/27(月)-30(水)東京ビッグサイトにて行われた SusHi Tech にて、Luxembourg for Finance (LFF) と FinCity.Tokyo (一般社団法人 東京国際金融機構) が、協力深化のための覚書を締結しました。当覚書は両者が金融センタープロモーション機関として連携を強化し、資産運用業界と資本市場の発展に寄与することを目的としています。



・ 5/4(月) 日本とルクセンブルクがデジタル分野での協力に関する覚書を締結
林芳正総務大臣がルクセンブルクを訪問され、宇宙通信や AI を含むデジタル分野での両国間の協力覚書が締結されました。当覚書では日本政府主導の AI (人工知能) 社会の構築や、ルクセンブルクが促進する宇宙通信網の開発などが協力領域として位置づけられています。

・ 5/7(木) レーシュ駐日大使が石川県を訪問し山野知事を表敬
レーシュ駐日大使が石川県を訪れ、今年 3 月に就任した山野知事を表敬訪問しました。ルクセンブルクと石川県の交流は、1994 年の小松空港へのカーゴルックス便就航を機に始まりました。今年 7 月には、能登の高校生をルクセンブルクに派遣する交流事業が予定されています。

・ 2025 年大阪・関西万博ルクセンブルクパビリオンが部材の 80%以上の再利用を達成
解体後の再利用を前提とした「サーキュラー・バイ・デザイン」のコンセプトに基づいて設計されたルクセンブルクパビリオン。閉幕後パビリオンの解体が進められてきましたが、部材の再利用先が決定し最終的に部材全体の少なくとも 80%の循環が達成されました。詳細は Luxembourg @ Expo 2025 Osaka のプレスリリースをご覧ください。



詳細は Luxembourg @ Expo 2025 Osaka のプレスリリースをご覧ください。
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000006.000128844.html>

【イベント】 ・ 4/16(木) 東京国際フォーラムにて「ルクセンブルク・プライベートエクイティセミナー (東京)」開催

ルクセンブルク・プライベートエクイティ・ベンチャーキャピタル協会 (LPEA) は、日本 およびルクセンブルクの業界関係者を対象としたセミナーを開催しました。セミナーへは約 80 名が参加し、最新の市場動向や国際的な投資環境に関する意見交換が行われました。



・6/10(水)-11(木) ルクセンブルクにてテックイベント Nexus Luxembourg 2026 が開催。7/10(金)に帰国後報告会を予定。

2024年よりルクセンブルクで開催されているスタートアップテックイベント『Nexus Luxembourg』、今年は日本から過去最多となるスタートアップ14社の出展が決まりました。

また7/10(金)には、ベルギー・ルクセンブルグ市場協議会と貿易投資事務所の共催イベント、「ルクセンブルク進出企業と NEXUS 参加企業が語るリアルと実践」を

JETRO innovation gardenにて開催予定です。イベントではルクセンブルク進出企業や Nexus 参加企業が登壇し、欧州展開に向けた新たな可能性が共有されます。参加は無料で、現在 Peatix にて参加登録を受け付けております。

<https://afternexusluxevent.peatix.com/>



***ベルギー・フランダース政府貿易投資局**

4/27

当局は、一般財団法人 海外投融資情報財団 (JOI) <<https://www.joi.or.jp/>>と覚書 (MoU) を締結しました。この MoU により、両機関は連携を一層強化し、日本企業による海外投資案件への支援体制の拡充を図ります。当局においては、特にフランダース地域への投資を検討・推進する日本企業に対し、より包括的かつ効果的なサポートの提供を目指します。

下記の LinkedIn で発表しております。

<https://www.linkedin.com/posts/tokyo-partnership-collaboration-ugcPost-7454451640906170368->



[VxyD?utm_source=share&utm_medium=member_desktop&rcm=ACoAAAEc6dABpRhrilCBI1JjMuZ4A9FKKpTc_Io](https://www.linkedin.com/posts/tokyo-partnership-collaboration-ugcPost-7454451640906170368-4A9FKKpTc_Io)



*ブリュッセル首都圏政府貿易投資局

4/24

名古屋市栄町にある小便小僧移転の機会に栄町商店街振興組合が開催した除幕式およびレセプションに参加しました。エブラール大使と東京都主催のG-NETS (Global City Network for Sustainability) 首長級会議に参加するために来日していたブリュッセル地域公共サービス庁の副事務局長 ゲルト・ヴァンデネード氏もご出席されました。



4/27-29.

ブリュッセルのスタートアップ企業

4社と共に「Sushi Tech Tokyo 2026」に出展しました。ブリュッセル地域公共サービス庁の副事務局長ゲルト・ヴァンデネード氏も私達のブースを訪問。また、大使ご招待のディナーに参加し、出展企業との交流を深めました。

*ベルギー王国ワロン地域政府貿易・外国投資振興庁

5月

欧州連合 (EU) 加盟国の在日大使館・文化機関が提供する作品を一挙にご紹介する映画祭「EU フィルムデーズ 2026」が開催。加盟国から、ベルギー・フランス語圏から出品の『芸術家、ただいま迷走中 (原題: L'Art d'être heureux)』を含む 26 作品が参加。『芸術家、ただいま迷走中』は以下の日時・場所で計 2 回にわたり上映。

日時: 5月24日(日) 18時45分上映開始

5月27日(水) 14時15分上映開始

いずれの回も、本編上映に先立ち、リベルスキ監督による本映画祭に向けたビデオメッセージが上映。

会場: [シアター] イメージフォーラム (東京都渋谷区渋谷 2-10-2)

料金: 一般 1,500 円 シニア 1,300 円 高校生・大学生 800 円 障害者 1,000 円

同映画祭は今後、名古屋、京都、広島および福岡の各地でも開催予定。



6/13, 14

欧州留学フェアに参加。

東京および京都の2都市で以下の日に開催される「欧州留学フェア 2026」に、昨年引き続きベルギー王国フランス語共同体政府国際交流振興庁 (WBI) ワロン・ブリュッセル・キャンパス (Wallonie-Bruxelles Campus) が参加し、ベルギー・フランス語圏の高等教育機関をご紹介します。

開催日: 6月13日(土) (東京会場・法政大学(千代田区))

6月14日(日) (京都会場・同志社大学(京都市))

詳細は主催者(駐日欧州連合代表部)ウェブサイト等で告知される予定。

6/24, 25.

ワロン地域の左官材料メーカー、Beal International (ビールインターナショナル) 社



が、以下の展示会に出展。

(福岡) 展示会名: 九州ホーム&ビルディングショー 小間番号: AJ-08 (株式会社シオキ 内) 会期: 6月24日(水) 午前10時から午後5時まで 6月25日(木) 午前10時から午後4時まで 会場: マリンメッセ福岡 (福岡県福岡市博多区)

(大阪) 展示会名: 建築・建材展大阪 小間番号: AC-045 (株式会社アイビ産業 内) 会期: 7月2日(木) および3日(金) 午前10時から午後4時30分まで 会場: インテックス大阪 (大阪府大阪市住之江区) 展示会に関する詳細は、以下のウェブサイトをご覧ください。

(福岡) <https://www.jma.or.jp/khs/> (大阪) <https://messe.nikkei.co.jp/as/>

9/13 まで 日本とベルギーの友好160周年を記念
建築家 隈研吾氏の哲学と作品を紹介する特別展が開催@フォロン財団美術館
当庁も後援及び協賛。

3/10-13. フランダース政府貿易投資局とともに3月10日(火)から13日(金)までの4日間、江東区の東京ビッグサイトで開催されるFOODEX JAPAN 2026 (第51回 国際食品・飲料展)にベルギーパビリオンとして出展。ワロン地域から12社が、フランダース地域から12社がそれぞれ参加。小間番号はワロン地域が西1ホール「W1-JJ10」で、フランダース地域が同ホール「W1-FF23」。
*ワロン地域からの参加企業等、詳細は追ってFacebook、当庁ウェブサイトなどでお知らせいたします。

*BLCCJ (ベルギー・ルクセンブルグ商工会議所)

4/8 BLCCJ ウェビナー「Navigating Mid-Career Choices: ミッドキャリア人材と企業の視点から考えるキャリアの中盤」

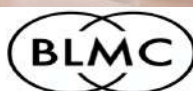
4/9 CLIC ネットワーキングイベント with ゴディバ ジャパン株式会社 COO 榎山 伸也 氏

4/16 ビア・ギャザリング @ ベルギービールウィークエンド日比谷

4/22 BLCCJ 会員がご挨拶 (登壇: ショーテックス日本株式会社、バレンチノ・ファガド 氏-XELA Robotics 株式会社)

5/18 ビア・ギャザリング@L'abreuvoir トラフ

5/21-5/24 ベルギーマルシェ @ BBW 横浜 *ITIC と BLMC が支援



5/26 日本・ベルギー友好関係 160 周年記念イベント：東京大学教授ディミトリ・ヴァンオーヴェルバーク氏による書籍出版記念講演 ・



5/27 アジアのベルギー・ルクセンブルグ商工会議所ネットワーク連携ウェビナー。
「Economic Outlook with Koen De Leus, Chief Economist BNP Paribas Fortis」

- 6/4 第3回 女性のディスカッションサークル ・
- 6/5 商工会議所間合同ネットワーキングイベント「関西国際名刺交換イベント 2026」
- 6/9 BLCCJ - CCIFJ - SCCIJ 合同ゴルフトーナメント 2026 ・
- 6/15 ビア・ギャザリング（予定） ・
- 6/24 バルコ株式会社のエクスペリエンスセンター見学会
- 7/1 BLCCJ フラッグシップセミナー 第22回「Delighting Customers in Japan」 ・
- 7/22 商工会議所間合同ネットワーキングイベント「サマー・カクテル 2026」

以上
BLMC オフィス・マネージャー
井宮 さおり